

# 第1回中原区ソーシャルデザインセンター創出に向けた意見交換会開催内容まとめ

## ○実施概要

日時：8月20日及び26日 午後6時30分～午後8時00分

※参加人数の都合により同じ内容で2日程実施。

会場：オンライン

	人数	意見交換グループ数
8月20日	14人	4グループ
8月26日	10人	3グループ
合計	24人	7グループ

# 第1回中原区ソーシャルデザインセンター創出に向けた意見交換会開催内容まとめ

## ○意見交換内容まとめ：地域の活動「あったらいいな」意見集

	「あったらいいな」の意見
情報発信に関する意見	<ul style="list-style-type: none"><li>・シニア向けの告知は、紙ベースで行うため苦慮している。</li><li>・あらゆる世代の人が、それぞれ興味・関心につながる、選択肢がたくさんあるとよい。それをどうやって情報発信していくか。</li><li>・活動しながら情報発信できる人は少ない。AIで解決できるとよい。</li><li>・声を出すのはどこで？講座や講演会であった人に。かわさきFMで言ったこともある。</li><li>・気軽に情報知れるものがあるといい。紙ベースで広報素晴らしい活動してるのにもったいない。SDCで支援できるといい。</li><li>・活動をデータベースで見える化（行政で）</li><li>・色々な立場の方に伝えられる情報提供方法は何か考えていきたい。</li><li>・情報発信は相手に合った方法で。ママ友にはLINEとか。</li><li>・町会に加入していない人達との情報共有。</li><li>・みんなに活動を広げられる媒体があるといい（アジサイを一人で手入れ→イベントをうつことでたくさんの人に来てもらった）</li><li>・二子多摩川で活動しているエリアマネジメントの方達が、スマホの画面用に作ったポップをそのままチラシにできる仕組みを作った。そういうもの活用できるといい</li><li>・「水やりしてくれませんか」だと否定的な反応<ul style="list-style-type: none"><li>→「体験だよ」と伝えるとよい（ニーズのあるところに伝わるよう語りかける。「これくらいならやってもよい」という方たくさんいる。）</li><li>→Green Birdでは、「一度ごみひろいに参加した方はごみを捨てない」という哲学の下、「参加者同士で話しましょう」という誘い方をしている（自分ごとになると認識変わる）<ul style="list-style-type: none"><li>→つながりの中で自分の知らなかったことが自分事になるといい</li></ul></li></ul></li><li>・コロナが収まればいいな。リアルで集まる場があれば教えてくれる機会が作れるとよい。</li><li>・8月17日神奈川新聞で市長選の関係で高校生が政策提言するというニュースがあった。 この活動は、どんな団体がどのように支援しているのかなどヒアリングし、それをストックする地域活動のデータベースがあるといいと思う。真似してみようかと思える。</li><li>・情報へのアクセスの課題を感じる。</li><li>・活動を知ってもらうことが難しい。</li><li>・あえて探すアクションに至らない。⇒探せるサイトほしい</li><li>・気楽に参加できるしくみと周知の手段があったらいい（地域のラジオ体操も知らなければ参加できない）</li><li>・中原区内には既にたくさんの地域の活動があるのでそれを伝えていく場があったらいいな</li></ul>

# 第1回中原区ソーシャルデザインセンター創出に向けた意見交換会開催内容まとめ

		「あったらいいな」の意見
場づくりに関する意見	SDC運営の場	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 中原区は人口が多いのでもっと「活動の場」があった方がよいと思う。場があると人が集まりやすい。その場に人がいて、何か対応してくれるような場。</li> <li>・ 人の数だけ活動体が必要で、活動体の数だけ場が必要。文化芸術の場がほしい。</li> <li>・ ある程度の広さがある体操活動の場がほしい。鹿島田から新城まで来る人も。</li> <li>・ 定期的にやることにも意義がある。</li> <li>・ 場所探し大変。探し続けていたら中原教会借りられた。いろいろなところでやりたいて言っていくことが大事</li> <li>・ にじのひろば（公園遊び）それもやりたいて言っていたらできた。発信は大事。できないことでなく、やりたい気持ちがよい。</li> <li>・ 市の貸館のように主催者の法人格の種類で値段を変えると機会損失につながるのではないか（子育て・教育）            関連：株式会社だと障害関係のイベントを場所が見つかりづらい（バリアフリー会場は大手町のビルなど限られている）            収益性が低いのに収益事業の是非を問われる。（非営利・営利・？：「?の部分が存在する」）            ⇒SDCを持続可能にするためには、収益化は少し違うが、健全な運営資金をどうするか、運営者への対価をどうするか</li> <li>・ 住所とポスト            →スタートアップの団体等では、誰かメンバーの住所を公開する形 となってしまうので、SDCで公開する住所とポストを提供できると始めやすくなるのではないか。</li> <li>・ 手上げ方式で使える場があったらいい（継続しなければならない、となるとなかなか難しく一回だけ開くということが気軽にできれば）</li> <li>・ 興味のあるものを集める</li> <li>・ ソーシャルデザインセンターでZoomの場を持ち、そこを会場にして手上げ式でイベントを行っていったらどうか</li> </ul>
	交流の場	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ オープンチャットのような意見交換の場があるといい。一方で使うのがむずかしいひと（年代）もいる。苦手な人もいる。</li> <li>・ ちょっと話したいときに話したい場所はあるか？今はない。電話で仲のいい人と話すくらい。</li> <li>・ コミュニケーションできる物理的な場所</li> <li>・ 一緒にやってみましょうかといえるオンラインの場があるといい</li> <li>・ 家に居続けてしまっている方など色々オンラインで交流できるとよい</li> <li>・ 一緒にやり始める人を募る場があったらいい（自分発信でやりたいことがあっても、やり始めるときのハードル（自分一人が発起人になる重責等）がある。）</li> </ul>

# 第1回中原区ソーシャルデザインセンター創出に向けた意見交換会開催内容まとめ

	「あったらいいな」の意見
<b>参加するきっかけづくりに関する意見</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中原区は若い世代が多い。どのように町内会・地域活動への参加に巻き込んでいくか。ニーズを聞いてみるとか。</li> <li>・単身世帯は、地域の人とつながるきっかけがないのでは。               <ul style="list-style-type: none"> <li>→子どもがいなくても参加しやすいイベント、きっかけづくり。</li> </ul> </li> <li>・気軽に地域活動につながる機会があるといい（しばられてしまうという感覚がある。単発での活動参加でもOKなら参加しやすい）               <ul style="list-style-type: none"> <li>→「関係人口」のような「関係地域活動」という概念を作れたらいい</li> <li>→「PTA活動」というと構えてしまうが、「1回だけのボランティア」というと100人規模で人が集まったことがある</li> <li>→その裏側にはみなさんの恩返ししたいという気持ちがある</li> </ul> </li> <li>・自由意志も大事。無理しないで得意なことできることで関わる仕組み。スモールステップ（小さな負担）で始める仕組みがあったらいい</li> </ul>
<b>活動を始めるための支援に関する意見</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・やりたいを実現できるSDCになるといい。</li> <li>・金銭面に課題。活動経費賄い方。スタートアップの支援があるとよい。</li> <li>◆きっかけがあれば始める人はいる               <ul style="list-style-type: none"> <li>まずは一人でするレベルから、人と巡り合える場</li> <li>ゆるーく、勝手におもてなしのように</li> <li>一時的に駐車場を開放するとか・・・</li> </ul> </li> </ul>
<b>つながりづくりに関する意見</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「つなぐ」というコンセプトについて、つなぎ役が大切。SDCが担えるとよい。</li> <li>・SDCには地域と川崎プロボノ部をつなぐ役目をして欲しい</li> <li>・つなぎ役の腕が大事</li> <li>・エリマネの役割が大事（防災提言等をしている）</li> <li>・新旧をつなぐのを行政任せではなく、みんなの手で、特にSDCの役割</li> <li>・タワマン群と行政のつながりがない。19号時地域から孤立した。</li> </ul>
<b>地域活動の案に関する意見 （防災・魅力発信・健康）</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・19号の課題：防災組織体制には意味がなかった（誰も避難所に来なかった）→改善したい</li> <li>・やりたいこと。選挙権18歳以上になった。政治家と呼ばれる人と意見交換ができたらいいな。政治に興味湧くのでは。</li> <li>・政党関係なく一堂に会するといいのでは。数人で質問できるものもいいのでは。</li> <li>・多摩川スピードウェイの跡地。残してほしい。お弁当食べたりしたこともある。劣化したので取り壊し（台風19号のなどもあったので）都会だけれども遺構とかも残していければ。</li> <li>・体を動かす、地域の活動を両立する活動としてランニングパトロールはどうか</li> <li>・登山を地域のみんなでやるのはどうか</li> </ul>
<b>その他の意見</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・かわさきFMでも何かできないか考えている。ラジオ以外で広報難しいことがハードル。</li> <li>・商業施設としてもSDCなどの区の活動に積極的に参加し、協力していきたい。</li> <li>・校庭を借りられない：防災訓練ができない。→校長とのつながりで改善した</li> <li>・オンラインでも進捗管理ができるツールがあるとよい</li> <li>・対価の多様性               <ul style="list-style-type: none"> <li>→未来食堂みたいに、お金ではなく労働ではらうなど、「ありがとう負債」をどうするか。もらいっぱなしは心地よくなる。やってあげるではなく、双方向に</li> </ul> </li> <li>・Zoomを気軽に使えるツールにしていくことも今後必要</li> </ul>